



オカネもいいけど
モノ・コトもね♪

もちつもたれ通貨 プロジェクト





-Self Introduction- 自己紹介

佐藤 雅宣(さとうまさのり)

1979年、栗原郡若柳町(現 栗原市)の魚屋に生まれる。うお座。後厄。

一関工業高等専門学校 機械科卒

蔵王町遠刈田温泉在住。

台湾喫茶 慢瑤茶(まんようちゃ)オーナーシェフ

アースデイ東北主催、みやぎ蔵王こけし館キュレーター

高専卒業後、白石市の会社に就職。就職先で台湾関連の業務につき、足掛け13年ほど台湾とか中国雲南省とかその辺を行き来する中で茶と料理の世界にハマり、2013年に退社後、台湾喫茶・慢瑤茶(まんようちゃ)を立上げる。

地元の素材(その辺にあるやつ)を使い、調味料作りやそれを使った料理を日々勉強中。最近では、その辺にあるやつと言う事で、昆虫食・雑草食にまで手を出し始める。

月イチ程度でたまに大道芸人(ちんどん屋)。

渡伯中に好きになったブラジル音楽の影響からほぼ毎年浅草サンバカーニバルに出場中。





発足の経緯



説明不要なほど、蔵王町には「観光」「農業」「伝統産業・文化」のコンテンツが揃っている。

➡ もっと有機的に繋がっていくことが出来ないか？





…って話の前に、そもそも「商店街」の企画じゃなかったっけ??

そうなんです！

元々は自地域(遠刈田地区・蔵王通り商店街)を中心に
企画してたのですが。。。。





企画草案を話す



「あれ？このネタ、折角だから全域巻き込んだほうが面白くない？」



「巻き込めそうなところある？」



「いるね！」



「じゃあ、全町巻き込もう！」

…ってなりました。
小さな町の身軽さをご体験下さい(笑)





発足の経緯

地域イベント

- ・神楽奉納
- ・暁祭(どんと祭)
- ・地区夏祭り/芋煮会
- ・産業祭り

観光イベント

- ・雪の壁ウォーキング
- ・雪上花火大会
- ・とおがった大道芸
- ・ろくろまつり

農業イベント

- ・援農体験ツアー
- ・食イベント(たっぷり蔵王)
- ・収穫祭
- ・グリーンツーリズム

伝統芸能／伝統産業／里山資源／観光資源

イベント・資源は十分にあるからこそ「それらの底上げ・繋ぐ」何かが必要！





もうひとつの経済 「ギフトエコノミー」

日本式ギフト経済＝「もちつもたれつ」 から始まるコミュニティの醸成

「お金を払ってモノを買う」。。。。等価経済においては消費者(=払う側)と供給者(=お金の対価を渡す側)の2方向でのやりとりです。お金は腐らないモノなので、貯めておく事が出来、それを沢山持っている人が供給者とのやり取りの権利を沢山持つこととなります。この為、どうしても性質上「奪い合い」が発生しやすくなり、持っていない人は弱者として扱われがちです。でも、仮に「お金に変えられない野菜」を沢山持っていたとしたら、どうします？きっと腐る前に頑張って食べ切るか、それでも残った野菜は近所や友人にあげると思います。そうすることで「野菜を腐らせずに済んだ」自分も、「野菜を頂いた」他人も、双方がハッピーになる・・・これが「ギフト経済」。もともと、日本では里山文化や絆、もったいない等、ギフト経済の原型が既に根付いており、ここ蔵王で見ても季節になれば、梨や桃、大根や白菜などがどこからともなく流れてきます。そうした元々根付いている文化を「社会の枠組みに組み込む」・・・その、インターフェースとして、本プロジェクトは存在します。

<インナーブランディングの基本>
「みんなが『わらしべ長者』になれる」

・この言葉を基に、活動に対するイメージの共有と明確化を図り、目的に向けより実効的な活動を行っていく。





基本概念

「単価のない」通貨

- ・一番風呂
- ・出来立て菓子試食
- ・新商品試食
- ・カットモデル

試食・モニター

- ・竹切り
- ・白木皮むきetc...

仕事のお手伝い

- ・イベント手伝い

ボランティア

- ・菓子作り体験
- ・絵付け体験

体験・ワーク

「お金には変えられない何か」だったり、「困りごと」だったり、「ちょっとした嬉しいこと」などを通貨を使ってグルグル回し、輪を広げていく。全てギブ&ギブであったり、ペイフォワードの概念を旨とする。





通貨のデザイン

蔵王一刀彫

(奈良一刀彫系)

石橋康宏

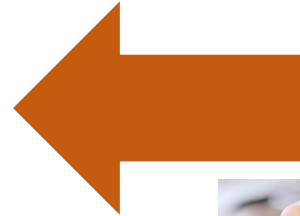
(遠刈田地区在住)



一刀彫による
コイン木地の制作



こけし工人による
コイン絵付け



伝統こけし

(遠刈田系)

小山芳美

(遠刈田地区在住)



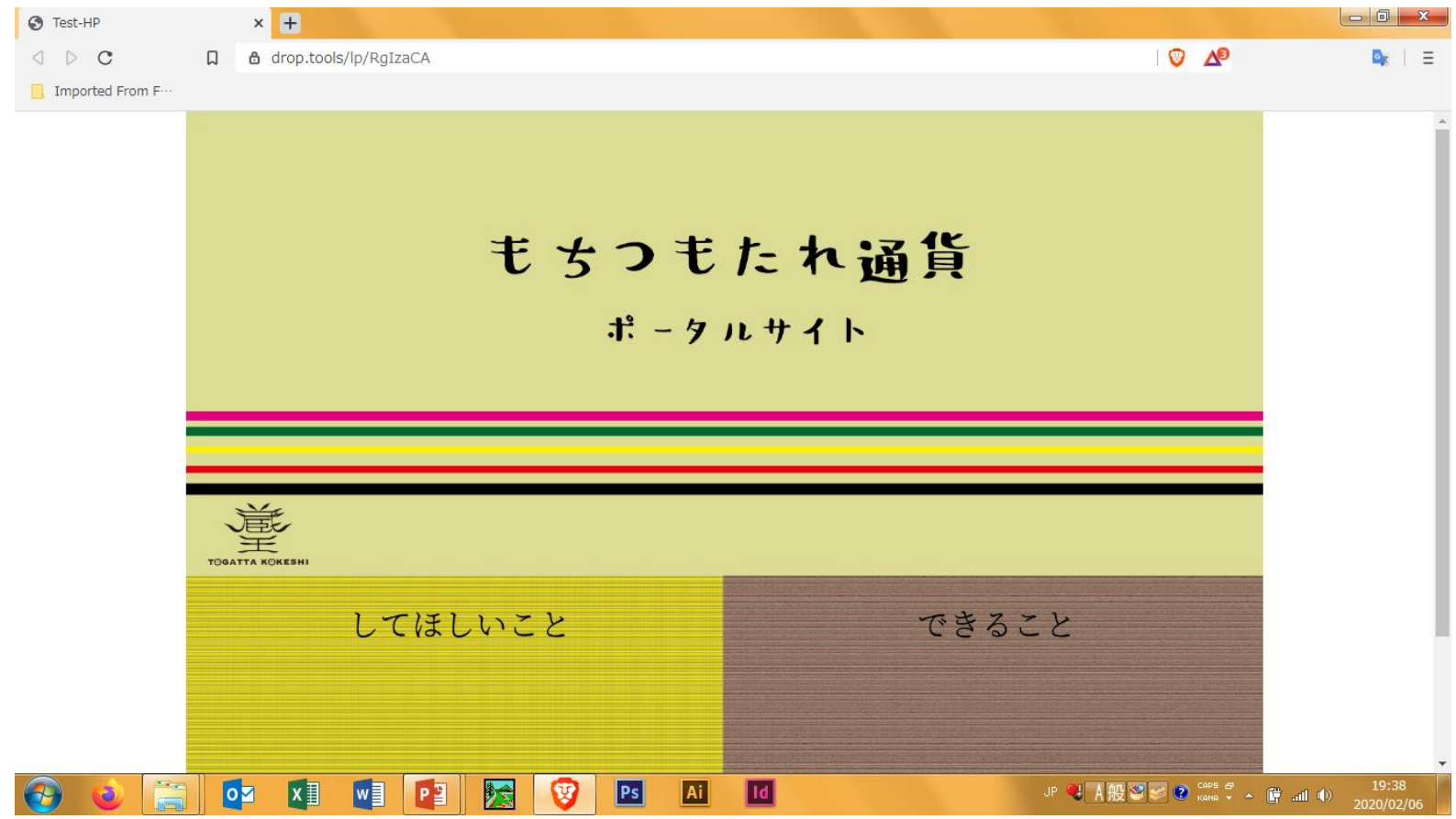
「(実は)クラフトマンが多く住む蔵王」らしさ全開で、
若手作家を中心に、全てハンドクラフトでコインを制作する。





運用方法

※画面は製作中のテスト画面です



ポータルサイト内で情報の「市場」を形成し、
そこから各々でマッチングを取る形態を検討中。





本プロジェクトの目指すところ

- ・「ギブ&ギブ」、「見返りを求めないペイフォワード」で双方が幸せを体験できる
- ・「わたしのものはみんなのもの」、「みんなのものはみんなのもの」がどんどん増えてくる

- ・2方向のやり取りが、多方向性となる為、繋がる人が広がる
- ・仕事の一面も、仕事外の意外な一面も知ることが出来、互いに深く繋がれるようになる

- ・「助けて欲しい(助けてあげる)」をキッカケに、コイン1枚で輪の中に気軽に入ることが出来る
- ・輪の中は沢山の多様な人が居る為、輪に入るだけで一気に繋がりが広がる
- ・それによる「安心感」が担保される



**リリース後、環蔵王(七ヶ宿、川崎、白石、上山、山形)も巻き込み、
「蔵王全体」で醸成を図る展開を検討中。**

